



第 50 期 中間報告書

平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日

MOBILE SPACE by 三協フロンティア

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第50期中間(平成30年4月1日～平成30年9月30日)報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(当上半期)における日本経済は、輸出の緩やかな増加や、人手不足を背景とした合理化・省力化投資を中心とした設備投資増加など、企業活動は堅調に推移しており、個人消費も持ち直しております。米国の保護主義的な通商政策と米中貿易摩擦の激化による世界的な景気下振れリスクが懸念されておりますが、国内需要は堅調に推移するものと思われます。

ユニットハウス業界におきましては、首都圏を中心とした再開工事が高い水準で行われており、オリンピック関連工事も徐々に開始されて来ていることから、引き続き高い需要が継続することが見込まれます。一方で、資材購入価格の上昇や建設労働者の人材不足により、工期の長期化や建築単価の高騰が顕著になってきております。このような状況の中、当社の主力製品であるユニットハウスは、工期短縮や建築コス

トの抑制が可能な工業化建築物としてますます市場優位性を発揮しております。特に本建築の市場においては、価格優位性やスピード施工、現場の職人の熟練度に左右されない品質の安定性など、「ユニット工法」の持つ本質的な価値が見直され、その優位性は顕著なものとなっております。

2008年から2018年まで、10年ビジョン「技術力と収益力において世界一のモバイルスペースメーカーになり、資源循環型ビジネスにより社会へ貢献する。」を掲げ、従来の仮設建築市場だけでなく本建築市場へと領域を広げてまいりました。この間に売上高は2.3倍となり、リユース可能なユニットハウス市場を拡大することで、資源循環型社会の実現に微力ながら貢献してまいりました。

今期より新たな10年ビジョン「地球上でもっとも進化したモバイルスペースメーカーになり、お客様の夢をモバイルすることにより社会のハピネスに貢献する。」を掲げ、新規製品の開発、市場の開拓、業容拡大のための設備の拡充等に積極的に取り組んでおります。

国内においてはユニットハウスの特性をより一層発揮することができる不動産市場へと進出してまいります。また海外においては、ミャンマーとマレーシアでの子会社設立に続き、シンガポールに支店を開設し、ASEAN地域への事業展開を推し進めております。

今後も創業当時から受け継がれてきたフロンティアスピリッツ(開拓の精神)を原点に、社会に貢献する会社を目指し、情熱を持って活動してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成30年12月

代表取締役社長

長巻貴嗣

基本理念

目的(存在理由)

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観(不変の主義)

- 開拓の精神** わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、未開の地(新しい分野)に挑戦することを誇りとします。
- 不断の努力** わたしたちは、弛みない努力によって、困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。
- 誠実な意志** わたしたちは、わたしたちを支える人々^{*}に対し、揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー(お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など)を指します。

10年ビジョン

10年ビジョン(2008年4月～2018年3月)

「技術力と収益力において世界一のモバイルスペースメーカーになり、資源循環型ビジネスにより社会へ貢献する。」

2008年4月に10年ビジョンとして掲げ活動してまいりました。事業領域を仮設建築市場から本建築市場へ拡大するとともに、空調機器や配電設備など機能を付加した製品開発を積極的に進め、工事期間の短縮や快適性の向上、リユース力の強化を図りました。

拠点としては、2013年9月に茨城県土浦市につくば工場を新設。展示場は2018年3月に全県への出店を完了し、店舗数は185店舗に。トランクルームも前期末には370店舗となり、店舗網を拡充してまいりました。あわせて設計・施工協力会社のネットワークを全国へと展開し、お客様のニーズに細かく対応しています。

これらの活動を通じ、売上高は2.3倍、経常利益は4.2倍へと拡大してまいりました。

新10年ビジョン(2018年4月～2028年3月)

「地球上でもっとも進化したモバイルスペースメーカーになり、お客様の夢をモバイルすることにより社会のハピネスに貢献する。」

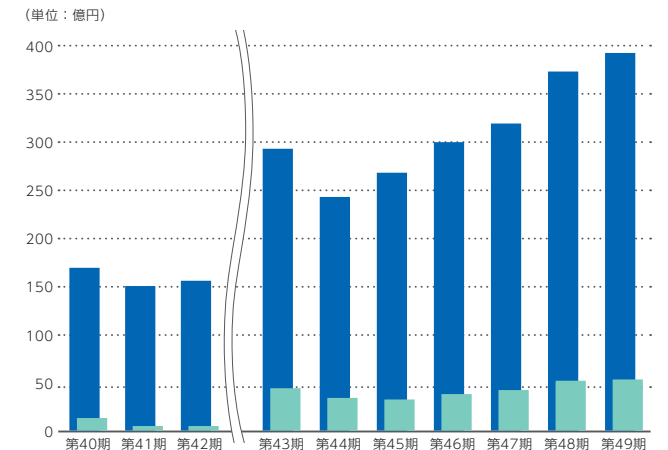
2018年4月より新たな10年ビジョンを掲げ活動を開始いたしました。ユニットハウスの特性をより一層発揮することが

できる不動産市場へと事業領域を広げべく、事業開発、製品開発に取り組んでおります。

多層階や大規模な建築物に対応する新規製品、工法の開発を進めており、その一環として、千葉県柏市の当社敷地内にメモリアルホールを建設いたしました。また、ASEAN地域を中心に海外進出を進め、ミャンマーおよびマレーシアの子会社設立に続き、シンガポールに支店を開設しております。

今後も、事業、製品、市場を開拓し、モバイルスペースをお客様に届けることで、社会へと貢献してまいります。

売上高・経常利益(連結) ※第43期より連結

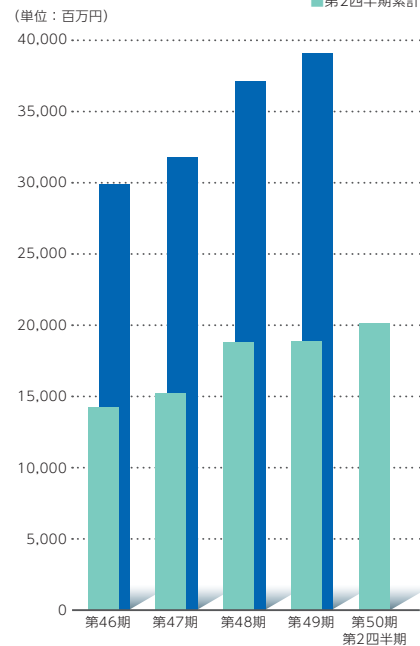


業績ハイライト (連結)

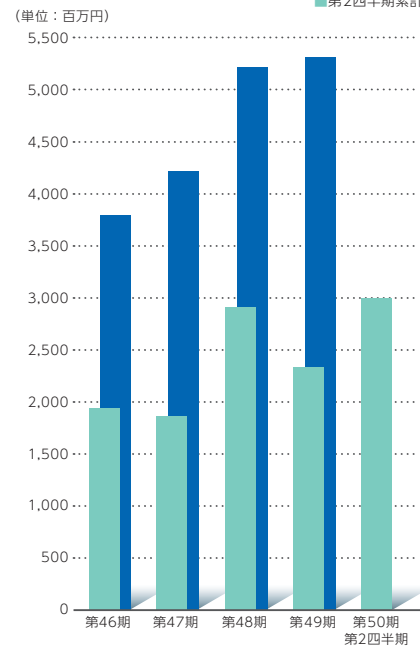
区分	期別	第47期 (平成28年3月期)	第48期 (平成29年3月期)	第49期第2四半期 (平成30年3月期)	第49期 (平成30年3月期)	第50期第2四半期 (平成31年3月期)
売上高 (百万円)		31,803	37,194	18,577	39,065	20,144
経常利益 (百万円)		4,205	5,208	2,334	5,318	3,001
親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益 (百万円)		2,567	3,087	1,368	3,361	1,778
1株当たり 四半期 (当期) 純利益 (円)		230.97	277.78	123.14	302.46	160.05
総資産 (百万円)		52,958	55,537	56,199	57,629	58,864
純資産 (百万円)		24,862	27,121	28,056	29,633	30,849

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。第47期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期 (当期) 純利益金額を算定しております。

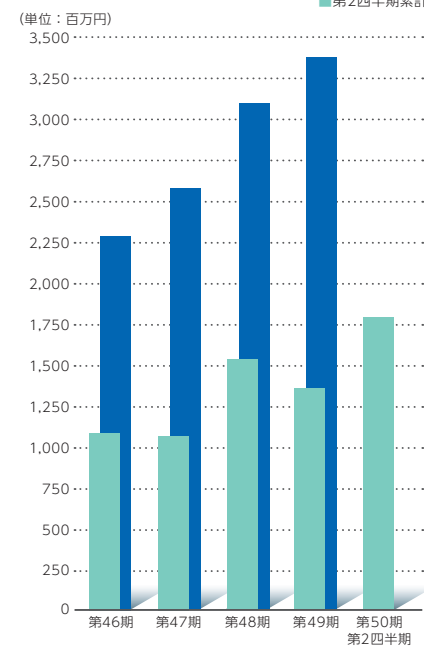
売上高の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

当上半期の業績について

当上半期は、全国で自然災害が続きました。当社は7月に発生した西日本豪雨に対し応急仮設住宅をはじめとする復興工事等に優先的に対応するなど、早期復興に尽力しております。

当上半期のユニットハウスのレンタルにおいては、堅調な民間建設投資の影響と、東京五輪の関連施設工事や都市部の再開発など大型案件の受注活動に積極的に取り組むことにより、出荷棟数・稼働棟数ともに高い水準で推移しました。また、デザイン性や機能性をさらに高めることで、イベントや代替時の仮施設など本建築市場におけるレンタル受注拡大に努めました。

ユニットハウスの販売においては、3階建てや大型連棟が可能な「MS1」の本格的な導入により、店舗・一般事務所といった本建築において大型物件の受注が増加しております。旺盛な需要に対応するため、引き続き全国的な設計・施工協力会社のネットワーク拡充を図り、受注体制のさらなる強化に努めております。

トランクルームのレンタルにおいては、WEB 広告を強化するなど稼働率の向上を図り、既存店の収益力改善に努めました。

また、業容の拡大に対応するため生産設備の投資を進め、供給能力の増強に取り組むとともに、並行して原価改善活動を推進し、利益確保に努めております。

上記の結果、当上半期の連結売上高は20,144百万円(前年同期比 8.4%増)となりました。

利益面においては、営業利益 2,969百万円(前年同期比 26.5%増)、経常利益 3,001百万円(前年同期比 28.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 1,778百万円(前年同期比 30.0%増)となりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活かし、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の拡大に努めてまいります。



建築士事務所 (外観)



建築士事務所 (室内)



エンターテインメント施設

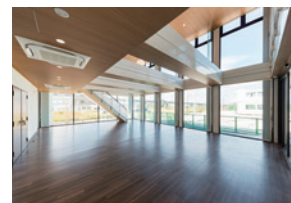
Topic 1 MSホール完成! モバイルスペースによる大空間の実現

2018年10月、柏たなか駅近くにある約2,000坪の当社所有の敷地内に「MSホール」が完成しました。「MSホール」は約220坪、2階建ての建築物で、10年ビジョン達成のメモリアルホールとして建設いたしました。『MS1』をベースとした様々なサイズのフレーム合計46棟を縦横に2層で並べ、オリジナル設計の大屋根ユニットをかけることで、これまでできなかった14m×24.5m×高さ7mという大空間を実現しました。

内外装はブラックフレーム+木目調パネルで高級感を持たせ、内部はスタジオをイメージしたデザインにしております。調光調色可能な照明や舞台照明、映像音響を導入し、

ホールとして利用できる建物に仕上げました。建物本体の工場生産や施工についても高い品質と精度が求められただけでなく、これまでに経験のない設備設計や、ネットワークの設計施工を行うなど、あくなき挑戦の第一号として取り組んでいます。

今回の一連の挑戦で培った技術力やノウハウを活かし、多様なお客様のニーズに応えてまいります。今後、この敷地は学びの場として位置づけ、自社施設としてだけでなく、用途提案の研究開発を目的とした施設を構築し、世の中へ発信していきたいと考えております。



Topic 2 東京支店 オフィス移転研究プロジェクト

2018年5月、東京支店は12年あまり使用していた千代田区神田錦町の事務所から同区神田須田町へと移転しました。企画から設計施工、ネットワーク工事、運用サポートまですべてを自社で実施したオフィス移転研究プロジェクトです。

新しい東京支店は「つながる」をコンセプトに、営業部門だけでなく全ての部門をワンフロアに統合することで、部門の垣根を超えたコラボレーションを生むワークプレイスとして誕生しました。眺望と採光の良い南面にラウンジスペースを設け、社員同士のカジュアルなコミュニケーションや他拠点から訪れた社員の一時利用の場として活用しています。

本プロジェクトで得たノウハウを元に、モバイルスペースに付随する備品レイアウトやデザインまで、積極的にお客様のニーズに応えてまいります。



Topic 3 柏レイソル冠試合「三協フロンティアDAY」の開催!

2018年9月15日、清水エスパルス戦に特別協賛し、柏レイソル冠試合「三協フロンティアDAY」を開催いたしました。スタジアムネーミングライツによって社名認知は高まりつつありますが、さらに事業認知を広めるため、スタジアム内に特設ブースを設置。モバイルスペースの実物をご覧いただきました。当日、スタジアムには11,000人を超えるお客様が来場され、特設ブースに長蛇の列ができるほど大盛況となり、抽選会などのイベントとあわせて、多くのサポーターに楽しんでいただくことができました。

現在、株主優待として観戦チケットを抽選でプレゼントしています。是非、株主の皆様におかれましても、スタジアムにお越しいただければ幸いです。今後もより一層社会に貢献できる企業を目指してまいります。



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

	第50期第2四半期 (平成30年9月30日)	第49期末 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産	15,774	15,519
現金及び預金	4,491	4,694
受取手形	556	503
電子記録債権	970	851
営業未収入金	4,878	4,176
売掛金	1,799	2,269
棚卸資産	2,737	2,607
その他	400	443
貸倒引当金	△59	△27
固定資産	43,089	42,109
有形固定資産	40,921	39,986
レンタル資産	23,002	22,761
建物及び構築物	5,394	5,100
土地	9,592	9,592
その他	2,932	2,531
無形固定資産	283	268
投資その他の資産	1,885	1,854
資産合計	58,864	57,629

(単位:百万円)

	第50期第2四半期 (平成30年9月30日)	第49期末 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債	19,185	21,284
支払手形	700	477
電子記録債務	6,600	6,500
買掛金	1,084	1,372
短期借入金	4,485	6,325
未払費用	1,783	2,171
未払法人税等	1,296	1,182
賞与引当金	480	452
その他	2,755	2,802
固定負債	8,829	6,711
長期借入金	6,498	4,400
役員退職慰労引当金	109	105
退職給付に係る負債	1,075	1,042
その他	1,145	1,162
負債合計	28,015	27,996
純資産の部		
株主資本	30,818	29,595
資本金	1,545	1,545
資本剰余金	2,776	2,776
利益剰余金	26,811	25,588
自己株式	△314	△314
その他の包括利益累計額	30	37
その他有価証券評価差額金	9	11
為替換算調整勘定	54	68
退職給付に係る調整累計額	△32	△41
純資産合計	30,849	29,633
負債純資産合計	58,864	57,629

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	第50期第2四半期 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	第49期第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	20,144	18,577
売上原価	11,790	11,226
売上総利益	8,354	7,350
販売費及び一般管理費	5,384	5,003
営業利益	2,969	2,347
営業外収益	70	38
営業外費用	38	51
経常利益	3,001	2,334
特別利益	0	—
特別損失	39	14
税金等調整前四半期純利益	2,961	2,319
法人税等	1,183	951
四半期純利益	1,778	1,368
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,778	1,368

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	第50期第2四半期 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	第49期第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,778	1,368
その他の包括利益	△7	11
四半期包括利益	1,771	1,379

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	第50期第2四半期 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	第49期第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,037	1,866
投資活動によるキャッシュ・フロー	△845	△406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△403	△1,298
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△2
現金及び現金同等物の増減額	△202	159
現金及び現金同等物の期首残高	4,554	4,311
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,351	4,471

企業の概要 (平成30年9月30日現在)

商号	三協フロンテア株式会社
本社所在地	〒277-8539 千葉県柏市新十番地
資本金	15億4,545万円
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣
設立	昭和44年12月5日
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル 4. 植物工場の製造・販売・レンタル
役員	代表取締役社長 長妻 貴嗣 専務取締役 端山 秀人 取締役 三戸 茂夫 取締役 藤田 剛 取締役 小嶋 俊一 取締役 安齋 光晴 常勤監査役 村井 康之 監査役 上田 俊郎 監査役 山崎 直人 監査役 石黒 博

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-26)第18154号
一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-1704-1483号

株式の状況 (平成30年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,678,400株 (うち自己株式565,473株)
1単元の株式の数	100株
株主数	1,460名 (平成30年3月末比48名減)
大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	5,616	50.54
長妻 貴嗣	1,657	14.92
長妻 和男	324	2.92
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	310	2.79
三協フロンテア従業員持株会	154	1.39
資産管理サービス信託銀行(株)	149	1.35
三菱UFJ信託銀行(株)	100	0.90
(株)千葉銀行	97	0.88
長妻 幸枝	90	0.81
日本生命保険相互会社	81	0.73

(注) 1. 当社は自己株式を565,473株保有していますが、上記大株主からは除外しています。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株主メモ

事業年度
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会
毎年6月

期末配当金受領株主確定日
3月31日

中間配当金受領株主確定日
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公告の方法
電子公告 (URL <http://www.sankyofrontier.com/>)
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所
東京証券取引所 JASDAQ スタダート

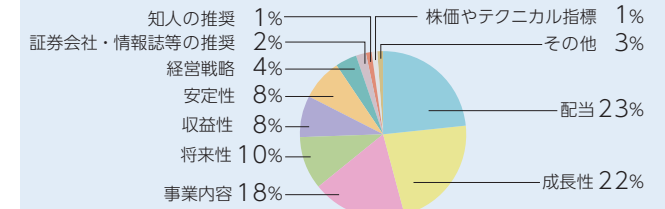
(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

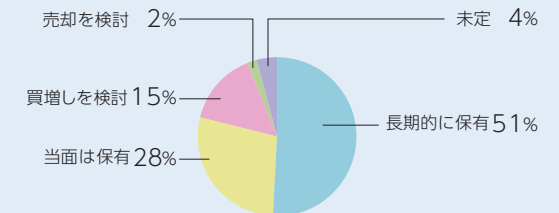
アンケート結果のご報告

「第49期 年次報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。187名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。
株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にしてまいります。

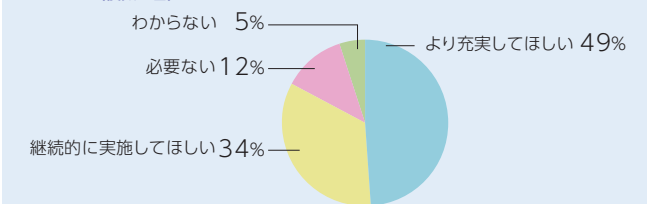
Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。 (複数回答)



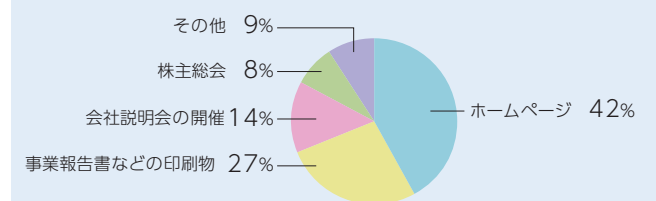
Q2 今後の当社の株式保有についてお聞かせください。 (複数回答)



Q3 株主優待制度の新設についてお聞かせください。 (複数回答)



Q4 今後、当社のIR活動について、充実してほしいこと をお聞かせ下さい。



岡山工場新設

稼働開始!!

岡山工場は、岡山センターの約3,000坪敷地内に約300坪の建屋を新築し、2018年9月より稼働を開始しました。岡山工場の周りには最近公開された映画のロケ地も点在しており、風光明媚で、山陽自動車道へのアクセスも良く、瀬戸大橋から四国に近い立地にあります。現在、岡山工場では、主としてミニハウスの組立を中心に稼働しております。今後は、販売主力商品である新製品MS1の組立を強化して、当期中には本格的に体制を整える予定です。前期3月に「全県出店」の最終地として出店した高知をはじめ、四国全域から中国地方西部は近年出店を強化しており、今後の需要増加に対応してまいります。



工場 外観



工場 内部



当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り
株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>

